

子どもたちのために！



【未満児の芋畑】

ってよかった！」と、職員一同感じているところです。

食育の一環として、これから一緒に芋の生長を観察したり、世話をしたりしていきます。秋、たくさんの芋を収穫する子どもたちの笑顔を楽しみにしながら…。(芋植えの様子は、裏面にもありますのでご覧ください。)

コドモンでお知らせしたように、先週、さつまいも苗の植え付けを行いました。これまで、以上児だけの園外活動として行っていました。今回、保育教諭たちの「全園児を喜ばせたい！」という声や願いから、未満児用の芋畑も造りました。以上児の畑と同様、耕運機で耕した後、手作りでマルチを設置。未満児が喜んで苗を植えている姿やその苗の様子を見に行き、声を掛けている姿を見て、「造



【以上児の芋畑】

「聞く」ことから始まる

園便り5月号に、「**「はい。」という返事は、聴くことから始まります。**」と書きました。子ども一人一人が、聴く習慣を身に付けて小学校へ上がれるようにしていきたいと考えています。そこで、「聞く」ではなく、なぜ「聴く」なのか。

「きく」という言葉は、一般的には、「聞」を用いますが、特に身を入れて「きく」時や内容を理解しようと思って進んで「きく」とときには「聴」という字を当てます。子どもが相手の話をしっかり聴き、その内容について自分にはできるのか、できないのかなどを考え、「できる！」と判断した結果、「**はい!**」という言葉で表現できることを願っています。

小学校の準備…？



左の写真は、5月21日に開かれた保護者会「第2回座談会」の様子です。8名の方が参加され、「小学校の準備、どうしてる？」の内容で熱心に情報交換が行われました。園児が入学する各小学校での約束事や準備の違いが分かったようです。会長さんは、「第3回目の座談会も会員皆さんの役に立つものにしたい!」と、内容を検討中のような様子です。